

平成26年11月5日

報道関係各位

木造軸組構造 MS ストラクチャーが 2014年度 グッドデザイン賞 特別賞「グッドデザイン・地域づくりデザイン賞」を受賞

～ 地域経済の活性化等に寄与する木造住宅供給モデルとして高く評価 ～

三交不動産株式会社（取締役社長 森口文生、本社：津市丸之内）の木造軸組構造「MSストラクチャー」が、『グッドデザイン賞2014』（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）の特別賞『グッドデザイン・地域づくりデザイン賞』を受賞しましたのでお知らせいたします。なお、「MSストラクチャー」は宮川森林組合および株式会社エム・エス・ピーとの共同受賞であります。

■「MSストラクチャー」について

「MSストラクチャー」は三重県の宮川流域に位置する大台町の木材を積極的に用いた、現在当社が供給している木造住宅の構造体であります。また、未来を見据えて山を育てる宮川森林組合から良質な木を確保し、大台町との第三セクターでプレカット工場を設立することで地元雇用を生み出し、加工まで品質を確保する一連の取り組みでもあります。

本作品がグッドデザイン賞ベスト100に選出された際には「地場の林産業、木材産業、木材加工業から伝統工法を用いる住宅提供までをひとつのサイクルにまとめた総合的な木造住宅供給モデルとして、高く評価できる。」「派生する端材や下等級材の二次利用などを含めた大きな構想に期待感がある。」という審査委員のコメントが付されております。



MSストラクチャー



株式会社エム・エス・ピー（第三セクタープレカット工場）



宮川森林組合による山の適正化（植林と地域性苗木の栽培）

○お問い合わせ先

三交不動産株式会社 戸建事業本部 商品開発部 TEL：(059)228-4116 担当：大久保・藤原

○資料配付先

三重県政記者クラブ

<別紙参考資料>

●グッドデザイン賞について

グッドデザイン賞は1957年に創設されたグッドデザイン商品選定制度を発端とする、日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動です。これまで55年にわたってデザインを通じて日本の産業や生活文化を向上させる運動として展開され、延べ受賞件数は40,000件以上にのぼり、今日では国内外の多くの企業や団体などが参加しています。グッドデザイン賞受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインを示すシンボルマークとして広く親しまれています。

●グッドデザイン・地域づくりデザイン賞について

2014年度に選ばれたすべての受賞対象の中から、くらしや産業や社会をさらに推し進め、未来を示唆するデザインと認められるものに贈られる特別賞のひとつです。豊かでゆとりのある国民生活の実現、地域経済の活性化、社会一般の福祉の増進等、わが国経済・社会の発展に寄与するものに贈られます。本年は当社の「MSストラクチャー」を含め、3作品が選ばれました。なお、昨年度は熊本県が応募した「キャラクターを活用した地域プロモーション [くまモン]」が本賞を受賞しています。

●2014年度グッドデザイン賞における他の当社受賞作品（既報）

- ・C値測定（住居に関するサービス・システム部門）
- ・APボード（ビジネスモデル・ビジネスメソッド部門）

●MSストラクチャーの名称由来

宮川森林組合（代表理事組合長 細渕淳輔、三重県多気郡大台町）および株式会社エム・エス・ピー（取締役社長 尾上武義、三重県多気郡大台町）の頭文字である「M」と三交ホームの頭文字である「S」からなります。

●株式会社エム・エス・ピーについて

平成5年7月、三重県大台町（設立当時は宮川村）と三交不動産㈱（設立当時は三交ホーム㈱）によって設立された第三セクターのプレカット工場。年間生産棟数は約570棟。

社名の由来は「エム」＝宮川、「エス」＝三交、「ピー」＝プレカットとそれぞれの頭文字からなります。

●宮川森林組合の取組みについて

宮川森林組合と京都府立大学大学院生命環境科学研究科（長島啓子助教）とは平成26年9月に「立地環境に基づく林業適地の抽出に向けて」という研究論文を発表。両者は既存人工林（スギ・ヒノキ）の適地性判断を地形図判読および現地調査にて実施し、調査結果をGIS（地理情報システム）に反映。宮川森林組合は既存人工林生産に適した場所を生産林、そうではない場所は環境林等に区分することにより区分に応じた森林事業を展開しています。宮川森林組合は山の土質や形状などのデータを基に、どの樹種なら良く育つのかを選択し、植樹する「森林立地評価」という取組を進めており、林業にも農業と同じように適地・適木があるとの考え方を取り入れています。どんな山にもスギやヒノキを植林するというこれまでの画一的な山づくりとは違う新しい山づくりに取り組んでいます。